

## 4 上級者を対象とした歯型彫刻技術の指導法に関する一考察

大沼誉英, 木暮ミカ

明倫短期大学 歯科技工士学科

*keywords* : 歯型彫刻, 歯科技工実習, 個別指導, 少人数制指導, 競争意識

### はじめに

歯型彫刻とは、歯の解剖を基にして歯の形態を彫刻技法により客観的かつ正確に造形する基本的な歯科技術である。しかし、通常の実習では複数の指導教員の目視による主観評価が指導の根拠となっているため、指導内容が属人化する傾向にあり、指導方法は未だ確立されていない。そこで今回我々は、第4回国際歯科技工学会大会にて開催される「テクニカルコンテスト（日本歯科技工学会賞）【NDTプライズ】」の学生部門に出場する3名を選抜するため、本科生全員を対象に学内審査を行って上位10名を選出し、夏期休暇中に強化トレーニングを行ったところ、学生指導方法について若干の知見が得られたので報告する。

### 対象および方法

対 象：平成20年6月に本科1,2年生101名を対象に学内審査を行い選抜した上位10名

課 題：「下顎左側第一大臼歯」の石膏彫刻（制限時間1時間）

指導期間：平成20年8月4日～29日（実日数18日）なお、出席は任意とした。

指導方法：到達目標を設定し、各自のレベルにあわせて大沼助手が個別指導を行った（図1）。

調査方法：①出席率とレベル到達度ならびに、コンテストの結果について分析した。

②参加者に今回の指導方法についてアンケート形式の聞き取り調査を行った。

### 結果および考察

出席率と到達度およびコンテスト優勝者の間に相関はなかった。これは今回のトレーニング開始時点で、既に参加者が高いレベルにあったためと考える。

またアンケートの結果より、競争意識によるモチベーションの向上と、個人の必要性に応じたきめ細やかな個別指導による満足度が高かったことより、今後の実

技実習により積極的に個別指導を導入することが技術向上に有効であることが示唆された。

### まとめ

今回の調査結果から、同程度の技能レベルの者同士を集めての少人数制指導および個別指導の有効性と、コンテスト参加による競争意識が技術向上に影響を与えたということが示唆された。

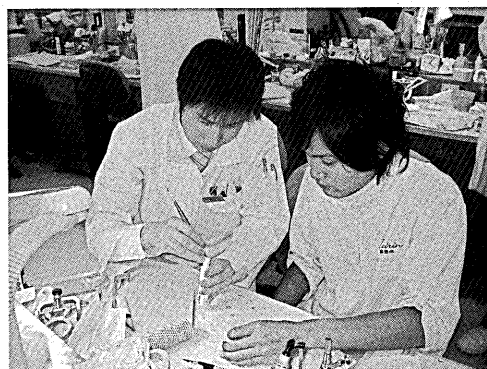


図1 トレーニング風景